



高市政権 暴走大軍拡

予算総額11兆円が暮らしをつぶす

25年度

「防衛費の増額に引き続き取り組んでいく」。日米首脳会談(10月28日)でトランプ米大統領にそう約束していた高市早苗首相。大軍拡をさらに加速させるアクセルを踏み込みました。

「GDP比2%」前倒し

11月28日に補正予算案を閣議決定し、2025年度当初予算とあわせた軍事費は他省庁の関係費を含めて国内総生産(GDP)比2%に。総額は11兆円規模に達します。

政府は当初、「2%」を27年度までに達成する計画でした。しかし高市首相は、トランプ大統領の来日直前の所信表明演説(10月24日)の「2%前倒し」はトランプ政権の要求に応えたもの。トランプ政権は「2%」

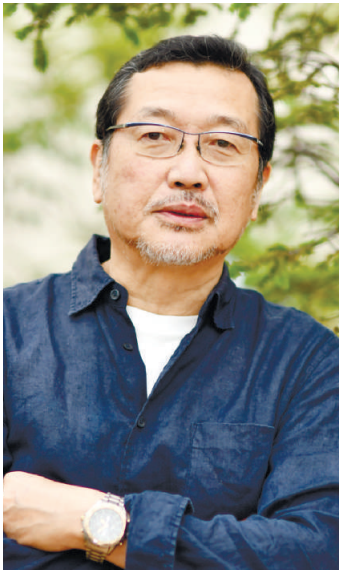
で、2年前倒しで達成する方針を表明。敵基地攻撃能力の保有、外国領土を攻撃可能とする長射程ミサイル配備と「2%」を決めた安保3文書の閣議決定(22年)から、わずか3年間で軍事費倍増が実現する異常事態です。

この問題をどうみればいいのか。特集で考えます。特集6、7面

高市首相は長射程ミサイルについて「全然足りない」(11月11日)と主張。対米要求を念頭に安保3文書も改定する方針です。まさに大軍拡の暴走が始まろうとしています。高市軍拡は、暮らしの予算を圧迫し、周辺諸国との緊張を高め、かえって日本の平和を脅かしかねません。

行き過ぎ対米追従と軍事力信奉をただせ

防衛ジャーナリスト 半田 滋さん



米国が日本の軍拡に期待しているのは日本防衛ではありません。米国の戦略実現のために自衛隊が米軍の2軍になることです。

まずは行き過ぎた対米追従と軍事力信奉をただすことです。政治家の役割は危機を回避することであって危機を高めることではありません。 詳報7面



陸上自衛隊健軍駐屯地(熊本市)への長射程ミサイル配備計画撤回などを求めるパレードに参加した人たち＝11月9日、熊本市



菅田 将暉さん



4人4色
ウルトラマン
主題歌の歴史

女子GPPファイナル
生活保護 補償値切る不見識
絵本で考える多文化共生
世界との連なりが見えてくる
仮放免のクルド人15歳の嘆き



ベネズエラへ米が侵攻の構え
外環道工事「地上に影響ない」
振動、騒音直上の住民避難

日中関係打開への見解
斎藤兵庫知事 違法性くつきり
振動、騒音直上の住民避難



青木 理さん
物価対策の柱なし
政府の補正予算案



維新「公金還流」なぜ相次ぐ
放置できない政治の根腐れ
俵 万智さん

「三葉の力」で世界の現実に向ける